

活動名 「屋根のない学校」の学習を生かした海洋教育～外部リソースの活用を通して～
 教科との関連 生活・家庭科・総合・特別活動・理科

1 活動のねらい

種差地区では、ウニ漁が盛んである。ウニ漁が行われる6・7月になるとウニの殻剥きを行っている家庭が多く、児童も殻剥きの手伝いを行っている。一方、漁業を中心に生計を営んでいる家庭がないせいか、ウニの生態やえさのことなどについては、ほとんど知らないことばかりである。海に近い学校として、身近な産業であり、自分自身も将来関わることも考えられるウニ漁について自分の言葉で語るができるよう、3年生以上の学年は総合的な学習の時間を、1年生は生活科の時間を利用して、全校体制で1年を通して学習を進める計画を立てた。体験を多く取り入れて理解を深め、地域への愛情を育てることをねらいとしてこの活動を設定した。また、本校の海洋教育との取り組みと他校の取組を比較することにより、自分たちの取組のよさや成果を再確認していきたい。

2 実施内容

① ウニ学習会「ウニの生態を知ろう」＜教科：生活科・総合的な学習＞



4月28日に、八戸水産事務所の榊さんと八戸みなと漁業協同組合種苗センターの小又さんにおいでいただき、ウニの生態について話を聞いた。児童は、ウニの歯が「ランタン」の形をしていること、ウニの仲間は昔からいたこと、世界で800種類もあること、ウニのとげは歩く役割をしていることなど、初めて知ったことが多く、驚いていた。

【外部リソースとの連携：八戸水産事務所、八戸みなと漁業協同組合種苗センター】

② 種苗センター見学＜教科：生活科・総合的な学習＞



5月30日に、学校のそばにある種苗センターに見学に出かけた。ここでは稚ウニなどを増やすための仕事をしている。水槽の中に60枚ものプラスチックの板をいれて、ウニの赤ちゃんを育てていること、えさがないと共食いが始まるので、配合飼料をえさとして与えていること、水温を11～12度に調整して育てていることなどを教えてもらった。何年もかけて育てる研究をして、7～8年かかってようやく育てることに成功したことを聞き、物事を成し遂げるための難しさや苦勞

にも気づいたようである。また、水槽の中には35万個もウニの赤ちゃんが入っていることに驚いていた。

【外部リソースとの連携：八戸水産事務所、八戸みなと漁業協同組合種苗センター】

③ ウニの殻剥き体験＜教科：生活科・家庭科＞



6月26日に、学校のそばの深久保漁港で、ウニのから剥き体験を行った。1年生は身をうまく出せずに苦勞したが、漁業生産部会の方に手をとって教えてもらい、ようやくできるようになった。上級生は慣れた手つきで行い、短時間で10個も剥く子どももいた。この日は、ご飯を持って行って、新鮮な生ウニ丼がお昼ご飯となった。自分の手で作った昼食を食べて、とても満足した表情だった。

【外部リソースとの連携：八戸水産事務所、八戸みなと漁業協同組合種苗センター、深久保漁業生産部会】

④ 中野小学校との交流<教科：生活科・総合的な学習・特別活動>

10月3日の全校遠足では、海洋教育を進めている岩手県洋野町立中野小学校との交流を行った。むつ市内の小学校を計画していたが、日程調整が合わなかったため、本校からバスで40分ほどの場所にあり、その先にあるもぐらんぴあという海洋関連施設の見学と合わせて交流会を計画した。本校からはウニに関する1学期の取組の様子を報告し、中野小学校からは、個人研究の報告を聞いた。全校で同じ活動をしている本校に対し、中野小学校では個人でテーマを決めて5年生から6年生にかけて研究している点は、特に高学年の児童が大いに参考になった。その後は、海にちなんだゲームやクイズで楽しく交流した。



【外部リソースとの連携：洋野町教育委員会、洋野町立中野小学校】

⑤ ウニの放流と赤ちゃん観察<教科：生活科・理科>

10月18日に、深久保漁港でウニの放流を行った。実習船に乗り込んで放流する予定だったが、近くの漁港での放流となった。各自ざるを持って、誕生後1年で体長20mmほどに成長した稚ウニを放流した。今回約4000個放流したが、そのうち7割程度しか生き残ることができないことに、自然界の厳しさを感じた。種苗センターに寄って、ウニが成長する様子を顕微鏡で見せていただいた。孵化した後、腕が2本ずつ増えていく様子を初めて観察した。これを繰り返して、トゲの多いウニになることを実感した。学校に



戻って、ウニの産卵・受精を観察した。塩化カリウム溶液を注射し、採取した卵子と精子を受精させることで翌日には浮遊幼生になることを見ることができた。命をつなぐ活動に、高学年の児童は大いに興味をもって観察していた。

【外部リソースとの連携：八戸水産事務所、八戸みなと漁業協同組合種苗センター、深久保漁業生産部会】

⑥ ウニ学習発表会<教科：総合的な学習>

2月13日に、種小タイムを設け、1年間のウニ学習についての発表会を行った。

体験したことだけでなく、興味をもって調べたことも掲示物にまとめ発表していた。図鑑やインターネットだけでなく、漁を行っている家族に聞き取りながらまとめている児童もいた。さまざまな視点で発表していたので、ゲストとしてお招



きした榎さん、小又さんからもお褒めの言葉をいただいた。5・6年生はこの後、27日の参観日の際、保護者に対しても発表会を行った。

【外部リソースとの連携：八戸水産事務所、八戸みなと漁業協同組合種苗センター】

3 地域との連携

八戸水産事務所の榎さんと種苗センターの小又さんには、何度も学校に来ていただき、ウニについて教えていただいた。ウニの文献や資料は思ったより少なかったため、お二人が用意してくださった資料はたいへん参考になった。種苗センターは学校から歩いて数分の場所にあり、養殖漁業をすぐ近くで行っていることには、大きな発見があった。学校のそばには深久保漁港もある。ウニの殻剥き体験や放流はそこで行った。特に、殻剥き体験は下級生にとっては難しかったが、漁業生産部会で働くお母さんたちのおかげでなんとか体験することができた。スピーディーに殻を剥く手つきは、まさしくプロの技であった。

学校のそばに素晴らしい施設や人材がいることに感謝する、「屋根のない学校」の学習であった。

自分たちが今まで学習の中でまとめたり調べたりしたことを、それぞれの学年の実態に応じて発表し、

より理解を深めていきたい。さらに、保護者や地域の方にも積極的に発信していくように努めていきたい。

「海に親しみ、海を守る海洋教育の推進」

【実践のねらい】

三陸復興国立公園種差海岸が学校近くにあり、海とともに生きる学習をこれまで展開してきた。夏場はウニ漁に関わる家庭が多いが、ウニの生態や成長の仕方については理解不足な点が多いため、ウニに視点をあてて調べる学習を計画した。ウニを中心に海に親しみ、海を守ることにについて考えを深めることができるように、ウニの学習会、種苗センターの見学、稚ウニの放流などの活動を取り入れる。自分達の生きる地域の源である海を深く見つめ、自分の考えを発信する活動を通して、主体的に学び、実践する力を育てる。

【主な連携機関と内容】

種差海岸ボランティアクラブ：オオハンゴンソウ駆除活動

八戸水産事務所：ウニ学習会

八戸みなと漁業協同組合種苗センター：ウニの成長見学

深久保漁業生産部会：ウニの殻剥き体験、稚ウニの放流

○時数 4月～3月 15時間（総合的な学習15）

○関連 生活科、社会科

○目標 (1) ウニの種類や体の様子、成長の様子などを理解し、発信することができる。

(2) 海岸ごみ拾い活動や外来植物駆除活動を通して、地元の美しい景観を守るために、自分達がすべき行動を考える。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 種差の海を守ろう</p> <p>①種差海岸芝生地のごみ拾い活動(1)総合・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校でごみ拾い活動を行う。 <p>②オオハンゴンソウ駆除活動(1)総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種差海岸ボランティアクラブの方の説明を聞き、オオハンゴンソウの見分け方を知る。 </div>											
探究的な活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2 ウニの生態を調べよう</p> <p>①ウニの種類や体のつくりを知る。(1)総合・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸水産事務所の方からウニの種類や体のつくりについて話を聞く。 <p>②ウニの成長の様子を知る。(1)総合・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗センターを見学し、ウニが大きくなる様子を観察する。 <p>③ウニの殻剥きを体験する。(2)総合・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウニが何を食べて成長しているか殻の中を観察させる。 <p>④今までの学習を他校に紹介する。(2)総合・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠足を利用して、海洋教育に取り組んでいる洋野町立中野小学校と交流し、これまで取り組んできた学習について報告する。 ・学習発表会においても同様に発表する。 <p>⑤ウニを放流する。(1)総合・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生後1年で20mmに成長した稚ウニを放流する。 </div>											
表現活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑥ウニの赤ちゃんを誕生させる。(1)総合・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウニの孵化実験を理科室で行う。 <p>⑦今までの学習の成果を発表する。(5)総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで観察したことや自分で調べたことを全校の前で発表する。 ・5・6年生は、参観日において保護者の前で発表する。 </div>											